

A10 AI Gateway： すべてのAIオペレーションを支えるイン テリジェントなコントロールプレーン

あらゆるLLM活用に対応する、インテリジェント・ルーティング、バジェット配分、ガバナンス

⚠ 分断されたAI環境

AIの導入形態は、組織ごと、さらには同じ組織内でも異なります。開発者はアプリケーションや業務システムにAIを組み込む一方で、マーケティング部門や製品部門などの部門では、IT部門が管理するシステムとは連携していない個人向けAIツールを日常業務に利用している場合があります。その結果、AI環境は分断され、誰がAIを利用しているのか、どのように利用されているのか、関連コストはどれくらいか、効率的に利用されているかを把握することが困難になります。

💡 AIを一元管理する インテリジェン トなコントローラー

A10 AI Gatewayは、組織全体のAIを一元的に管理する方法を提供します。ユーザー、アプリケーション、AIエージェントからのリクエストを適切なAIリソースへインテリジェントにルーティングし、AIの利用制御、コスト最適化、セキュリティ、AIワークフロー全体の可視性を高めます。その結果、企業のAI活用はより統制され、効率的で安全なものになります。組織は、誰がどのコストでAIを利用しているのかを正確に把握しながら、適切なセキュリティ対策を維持し、AIから最大の価値を得られます。

課題

AIの導入が、組織の管理能力を上回るペースで進んでいます。組織は、一貫した可視性の維持、コスト管理、セキュリティの徹底、そしてユーザーがAIへ確実にアクセスできる環境の確保に苦慮しています。

ソリューション

A10 AI Gatewayは、すべてのAIインタラクションを単一の統制された環境に集約し、ルーティング、コスト管理、AIキー管理、可視性を全体的に向上させ、AIリソースの効率的な利用を可能にします。

メリット

- アイデンティティに基づくAIアクセスにより、ユーザーまたはチーム単位で利用予算とモデルアクセスを割り当て
- 推論ベースのインテリジェントルーティングが、プロンプトの難易度と種類を評価
- 集中管理による可視性と管理、レート制限

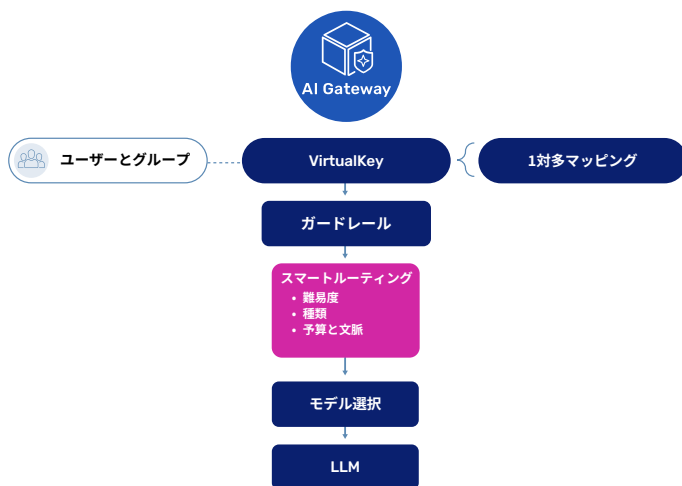


図1：アイデンティティに基づくアクセスとA10独自のスマートルーティング技術。A10 AI GatewayのAIトラフィックフロー例。



A10 AI Gatewayの 機能とメリット

A10 AI Gatewayにより、組織は次を実現できます：

- 1. アイデンティティに基づくAIアクセス - 適切なユーザーに適切なリソースへのアクセスを付与。** A10 AI Gatewayは、個々のユーザーやグループに基づいてAIへのアクセスとルーティングポリシーを適用でき、既存のローカルディレクトリシステムとの同期にも対応します。たとえばエンジニアリング部門のユーザーは専門的なコーディングモデルへルーティングし、その他のチームは役割やニーズに適したモデルへ誘導できます。固有の権限が必要なユーザーに対して個別のアクセスポリシーを定義することもでき、AIの利用とコストをきめ細かく制御できます。
- 2. スマートルーティング - すべてのリクエストを最適なモデルにマッチング。** A10 AI Gatewayは、単なる使用量の計測や静的なルーティングポリシーにとどまりません。AIリクエストごとに複雑さと種類を11段階の判断ツリーで評価し、推論に基づいて、シンプルなタスクはよりコスト効率の高いモデルへ、複雑で推論負荷の高いタスクはより高性能なモデルへ論理的かつ正確にルーティングします。組織はリクエストごとに適切なモデルを利用することで、パフォーマンスを最適化し、コストを制御できます。
- 3. AIトラフィックとコストの集中管理 - コアとなるAIゲートウェイ機能も備えており、A10 AI GatewayはAIトラフィックを管理する集中型コントロールプレーンおよびAIコスト管理ツールとして機能します。** 異なるAIモデルやツール間でリクエストをルーティングし、AIがどのように利用されているかを可視化します。

A10 AI Gatewayの構成要素

アイデンティティ、アクセス、ガバナンス

- ・ユーザー単位およびチーム単位で仮想APIキーを発行：ユーザー／チームそれぞれにバジェットとレート制限を設定
- ・キーごとのモデルアクセスポリシー：各アイデンティティが利用可能なモデルとプロバイダーを制限
- ・セキュアなプロバイダー認証情報管理 - 実際のプロバイダーキーは呼び出し元に公開されません

ルーティング

- ・タスクの複雑度による分類 - シンプルなプロンプトと複雑なプロンプトを分類してルーティング
- ・設定済みのモデルプール間におけるバジェットをトリガーとした優先順位チェーン・カスケード
- ・仮想キーまたはチームごとに利用者が設定可能なルーティングポリシー

コスト、バジェット、レート制限

- ・リクエストごとのリアルタイムなコスト追跡(ドル建て)
- ・モデル単位およびチーム単位のトークンバジェットの設定。ハードリミットとソフトリミットアラートに対応
- ・ビジネスレイヤーにおけるキーまたはチーム単位でのレート制限。TPM (Tokens Per Minute) /RPM (Requests Per Minute)

新しいAI Gateway：インテリジェントなコントロールプレーン

AIの導入が加速し続ける中、ユーザー、アプリケーション、エージェント、モデルをまたいだAI利用の管理はますます複雑になっています。一元化されたアプローチがない場合、組織はAIがどのように利用されているのかを把握し、コストを制御し、アクセスを管理し、AIリソースを効率的かつ安全に利用することに苦慮する可能性があります。

AIゲートウェイは、AIワークフローの集中型コントロールプレーンを提供します。ただし、すべてのAIゲートウェイが同じではありません。A10 AI Gatewayは、AIトラフィックを単に管理するだけでなく、リクエストのニーズに基づいて最適なモデルへインテリジェントにルーティングし、組織が個人およびチームレベルでAIアクセス、利用状況、コストを管理できるようにします。

その結果、AIの実装はより効率的で安全かつ信頼性の高いものになります。組織は、AIへのアクセスと利用方法に対する可視性と制御を維持しながら、すべてのAIインタラクションの価値を最大化できます。

A10 Networksについて

A10 Networks(NYSE: ATEN)は、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、エッジ環境における、ビジネスクリティカルなシステムを保護、最適化、拡張する、セキュアなアプリケーションおよびネットワークソリューションを提供しています。

A10のポートフォリオは、世界中の大企業、サービスプロバイダー、クラウドプラットフォームが、パフォーマンス、信頼性、サイバー脅威からの保護を実現しながら、AIおよび次世代アプリケーションの需要に対応できるよう支援します。

A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、世界で7,000社以上のお客様にサービスを提供しています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークングソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。www.a10networks.co.jp

A10について

A10Networks.co.jp

お問い合わせ

A10Networks.co.jp/contact

©2026 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, A10 Logo, A10 Control, A10 Defend, A10 Harmony, Harmony, A10 Thunder, Thunder, ACOS, A10 SSL Insight, SSL Insight, SSLi, vThunder, ThreatX, ThreatX Protect, およびTrojAIは、米国およびその他の国におけるA10 Networks, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。その他すべての商標は各所有者に帰属します。A10 Networksは、本書に含まれる不正確な記述について責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、またはその他の方法で改訂する権利を留保します。商標の完全な一覧についてはA10Networks.com/a10trademarksをご覧ください。